

科目名	保育原理				担当	千葉 直紀		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1 年前期	実務経験	保育士として保育施設で勤務経験あり	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y1101	DPとの関連	2
授業概要	保育原理では、子どもをめぐる環境をふまえながら、「保育とは何か」を広い視野から捉えて保育全般を学ぶ。具体的には、保育の意義と目的、保育所保育指針における保育の基本について理解し、保育の内容と方法の基本を学ぶ。さらに、保育の思想と歴史的変遷について学んだ上で、保育の現状と課題について考察する。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の意義について理解する</li> <li>2. 保育所保育指針の保育の基本について理解する</li> <li>3. 保育の内容と方法について理解する</li> <li>4. 保育所の歴史的発展過程を理解する</li> <li>5. 保育の現状と課題について考察する</li> </ol>							
授業計画	回	内容						
	1	保育とは	「保育」とは何か、「保育士」とは何かについて学ぶ					
	2	子ども観	子ども観や「保育」の専門的な位置づけについて学ぶ					
	3	各国の保育	諸外国の保育思想や制度を概観する					
	4	保育の目的および目標（1）	幼稚園・保育所の保育目的および目標について学ぶ					
	5	保育の目的および目標（2）	幼稚園・保育所の制度的変遷					
	6	戦前の保育と現代の保育（1）	日本における戦前の保育者の思いから学ぶ①					
	7	戦後の保育と現代の保育（2）	日本における戦後にかけての保育者の思いから学ぶ②					
	8	さまざまな保育思想から現代保育を考える	様々な保育思想を学んだ上で、現代保育との繋がりを考察する					
	9	保育の内容	今日の保育内容および遊びの意義について学ぶ					
	10	保育の計画	保育における計画の位置づけについて学ぶ					
	11	保育の評価、記録	指導結果を評価する観点および記録の重要性を学ぶ					
	12	子どもの育ちと環境（1）	子どもが育つ「環境」について広く考える					
	13	子どもの育ちと環境（2）	様々な保育形態から子どもが育つ環境を考える					
	14	さまざまな保育と課題（1）	多様化する保育ニーズと保育が直面する課題について学ぶ					
	15	さまざまな保育と課題（2）	保育の現状と課題について考える					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育思想や保育制度の変遷について理解できている</li> <li>・ 保育の内容や方法、保育の現状を理解し、今日的課題について考えを述べるができる</li> </ul>							
評価方法	レポート 80% その他 20%（課題レポート）							
フィードバック 方法	学生が講義内で書いた振り返りシート内容を提示し、それについて講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク							
教科書	『新時代の保育双書ともに生きる保育原理』 株式会社 みらい							
参考書	保育所保育指針解説							
履修条件	「保育とは何か」について自分なりのイメージをもっていること							
授業外学習	事前学習：保育原理で取り上げる内容を十分理解し、保育者になるための基礎的知識を身に付ける。また、新聞等を通して保育に関する情報を収集する（各回 30 分） 事後学習：課題レポートの作成のための文献収集やまとめの作業（各回 1 時間）							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							